



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

東・名

上場会社名 石塚硝子株式会社  
コード番号 5204  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 URL <https://www.ishizuka.co.jp/>

(氏名) 石塚 久継  
(氏名) 山下 登 (TEL) 0587-37-2111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年3月21日～2025年12月20日)

#### (1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	45,989	6.2	4,167	21.7	3,985	18.4	2,622	3.1
2025年3月期第3四半期	43,313	△3.6	3,426	△30.5	3,366	△32.8	2,544	△36.8
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		3,222百万円( -28.1%)	2025年3月期第3四半期		2,515百万円( △49.4%)			
		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
		円 銭	円 銭					
2026年3月期第3四半期		625.11	—					
2025年3月期第3四半期		609.25	—					

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	100,110	38,338	36.7	8,746.41
2025年3月期	100,417	35,332	33.8	8,104.29

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 36,789百万円 2025年3月期 33,912百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 65.00	円 銭 65.00
2026年3月期	—	—	—		
2026年3月期(予想)				70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年3月21日～2026年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	7.2	4,000	3.9	3,650 △1.7 584.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3 Q	4,219,554株	2025年3月期	4,219,554株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3 Q	13,350株	2025年3月期	34,992株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3 Q	4,195,955株	2025年3月期 3 Q	4,176,545株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド消費の増加等により緩やかな回復基調が続く一方、円安進行に伴う原材料・エネルギー価格の高止まりや人件費上昇による物価高、わが国を含む主要国の政治情勢の変化など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは、「モノづくり」を通じて体質を強化し、多少の荒波が生じても難なく乗り越えられる経営基盤を確立するため、長期的な視点で会社の方向を示す「ISHIZUKA GROUP 2030」を2022年4月に公表しました。これまでの事業環境の変化を踏まえ、2025年4月に見直しを行い、それに基づく2027年度を最終年度とする3か年の中期経営計画「新たな領域への挑戦」を策定しております。この中期経営計画では、①2027年度までに連結営業利益5,000百万円の達成、②中堅・若手人財の躍動と視座高き人財の充実、③2027年度CO2排出量 Scope 1 +Scope 2 30%削減（2020年度対比）、④ペーパーレス化の推進・アナログ作業からの脱却（ラクの追求）を重点ポイントとしております。更なる企業価値向上のため、ROE目標の前倒しとともに財務健全性指標並びに株主還元方針についても見直しを行いました。詳細につきましては、本日（2026年1月30日）公表の「2027年度中期経営計画「新たな領域への挑戦」アップデートに関するお知らせ」をご覧ください。

業績につきましては、売上高はプラスチック容器関連事業の新工場の出荷が寄与していること及びその他事業のパウチ飲料充填事業が新たに加わり、45,989百万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。利益につきましては増収効果に加えて、企業活動におけるコスト上昇に対する継続的なコスト低減施策と販売価格の見直しなどにより、営業利益4,167百万円（前年同四半期比21.7%増）、経常利益3,985百万円（前年同四半期比18.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,622百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### <ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、諸資材価格及び物流費用等の上昇に対する販売価格改定の取り組みを進めましたが、物価高による買い控えなどの影響により出荷量は減少し、売上高は8,650百万円（前年同四半期比2.6%減）となりました。

#### <ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、一般市場向けの販売が落ち込みましたが、企業向けの景品受注とアルコールメーカー向け業務用品の販売が伸長し、全体としては前年同期並みとなりました。陶磁器は、海外からの受注が堅調に推移しましたが、国内ホテル向けの受注が減少し、セグメント全体の売上高は9,847百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

#### <紙容器関連事業>

紙容器は、国内外原紙の調達コスト、諸資材及び物流費の上昇に対する販売価格改定の取り組みとともに新規販路の開拓もあり、売上高は7,133百万円（前年同四半期比7.0%増）となりました。

#### <プラスチック容器関連事業>

P E Tボトル用プリフォームは、前期から新たに稼働を開始した新工場からの出荷が寄与したことにより、売上高は12,758百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。

#### <産業器材関連事業>

産業器材は、販売製品の品種構成の変化により、売上高は1,783百万円（前年同四半期比11.0%減）となりました。

#### <その他事業>

抗菌剤は、原材料価格の上昇に対する販売価格是正を進めたことにより、売上高は増加しました。また、パウチ飲料充填事業の売上高が新たに加わり、セグメント全体の売上高は5,816百万円（前年同四半期比49.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて307百万円減少し、100,110百万円となりました。また、負債合計は3,313百万円減少し、61,771百万円となりました。資産の主な要因は、受取手形及び売掛金が増加し、流動資産その他（未収金）が減少したことによるものです。負債の主な要因は、支払手形及び買掛金が増加し、有利子負債並びに流動負債その他（未払金）が減少したことによるものです。

純資産合計は利益剰余金（親会社株主に帰属する四半期純利益）の増加により3,006百万円増加し、38,338百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は36.7%（前連結会計年度末は33.8%）となりました。

また、金融機関と総額2,000百万円のコミットメントライン契約を締結しており、資金の流動性を確保しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月20日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	4,905	3,693
受取手形及び売掛金	16,616	18,913
電子記録債権	3,703	3,762
商品及び製品	9,808	10,233
仕掛品	812	678
原材料及び貯蔵品	4,456	3,998
有償受給に係る資産	4,194	4,134
その他	3,514	1,773
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	48,008	47,185
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	12,064	11,653
機械装置及び運搬具（純額）	10,768	10,830
土地	15,595	15,496
その他（純額）	6,066	6,167
有形固定資産合計	44,495	44,148
無形固定資産	82	147
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	6,463	7,434
その他	1,296	1,162
貸倒引当金	△15	△31
投資その他の資産合計	7,745	8,565
固定資産合計	52,323	52,861
繰延資産	85	63
<b>資産合計</b>	<b>100,417</b>	<b>100,110</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月20日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	11,523	12,647
短期借入金	4,394	3,948
1年内償還予定の社債	1,802	727
未払法人税等	610	520
賞与引当金	739	518
その他	8,481	7,530
<b>流動負債合計</b>	<b>27,551</b>	<b>25,892</b>
<b>固定負債</b>		
社債	6,298	5,570
長期借入金	14,132	13,309
役員退職慰労引当金	11	-
汚染負荷量引当金	363	350
退職給付に係る負債	4,691	4,700
その他	12,035	11,948
<b>固定負債合計</b>	<b>37,533</b>	<b>35,878</b>
<b>負債合計</b>	<b>65,085</b>	<b>61,771</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>6,344</b>	<b>6,344</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>4,687</b>	<b>4,689</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>14,119</b>	<b>16,537</b>
<b>自己株式</b>	<b>△88</b>	<b>△33</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>25,063</b>	<b>27,537</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>2,846</b>	<b>3,500</b>
<b>繰延ヘッジ損益</b>	<b>1</b>	<b>2</b>
<b>土地再評価差額金</b>	<b>5,393</b>	<b>5,174</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>△117</b>	<b>△113</b>
<b>退職給付に係る調整累計額</b>	<b>725</b>	<b>688</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>8,849</b>	<b>9,252</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>1,419</b>	<b>1,549</b>
<b>純資産合計</b>	<b>35,332</b>	<b>38,338</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>100,417</b>	<b>100,110</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年12月20日)
売上高	43,313	45,989
売上原価	31,621	33,290
売上総利益	11,692	12,699
販売費及び一般管理費	8,266	8,531
営業利益	3,426	4,167
営業外収益		
受取利息	18	21
受取配当金	189	221
受取賃貸料	237	241
工場閉鎖関連損失戻入益	116	—
その他	76	104
営業外収益合計	638	588
営業外費用		
支払利息	293	313
賃貸収入原価	179	169
その他	225	287
営業外費用合計	698	770
経常利益	3,366	3,985
特別損失		
固定資産除却損	—	140
特別損失合計	—	140
税金等調整前四半期純利益	3,366	3,844
法人税、住民税及び事業税	565	756
法人税等調整額	187	336
法人税等合計	752	1,092
四半期純利益	2,613	2,752
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	129
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,544	2,622

## 四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年12月20日)
四半期純利益	2,613	2,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	654
繰延ヘッジ損益	4	2
為替換算調整勘定	6	4
土地再評価差額金	-	△152
退職給付に係る調整額	△37	△37
その他の包括利益合計	△98	470
四半期包括利益	2,515	3,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,444	3,092
非支配株主に係る四半期包括利益	71	130

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容 器 関連	産 器 関	業 材 連				
売上高										
外部顧客への売上高	8,878	10,238	6,669	11,617	2,004	39,409	3,904	43,313	—	43,313
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	161	—	161	3,798	3,960	△3,960	—
計	8,878	10,238	6,669	11,779	2,004	39,571	7,703	47,274	△3,960	43,313
セグメント利益	392	485	288	1,607	301	3,076	342	3,419	6	3,426

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額6百万円には、棚卸資産の調整額7百万円、その他△0百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月21日 至 2025年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容 器 関連	産 器 関	業 材 連				
売上高										
外部顧客への売上高	8,650	9,847	7,133	12,758	1,783	40,173	5,816	45,989	—	45,989
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	164	—	164	3,770	3,935	△3,935	—
計	8,650	9,847	7,133	12,923	1,783	40,338	9,586	49,925	△3,935	45,989
セグメント利益	751	634	462	1,647	143	3,639	529	4,168	△0	4,167

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△0百万円には、棚卸資産の調整額1百万円、その他△2百万円が含まれております。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年12月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年12月20日)
減価償却費 2,770百万円	3,646百万円